

個人質問

質問順番	氏名	質問事項	掲載頁
1	西村 弘樹 【一問一答方式】	1 本市の上下水道事業の現状課題と今後について (1) 配水場ならびに水源地の耐震化について (2) 今後の水道管路耐震化について (3) 本市の水道の有収率について (4) 今後の公共下水道事業について (5) 技術職員の確保と職員の増員および育成について	11
2	國枝 敏孝 【総括方式】	1 大雨に伴う上下水道の使用自粛の要請について	11
3	石田 清造 【一問一答方式】	1 withコロナ時代の学校教育の推進について (1) 休校措置について (2) 児童生徒や教職員への対応について (3) 家庭との連携について (4) タブレット端末の活用促進について (5) 環境整備について (6) 教職員の負担軽減について	12
4	川本 航平 【一問一答方式】	1 コミュニティスクール制度の導入について 2 学校と市役所の連携について	12
5	藤原 浩美 【分割方式】	1 新型コロナ感染拡大の対応について 2 持続可能な社会実現のための地球環境を守る取組みについて (1) 温暖化対策、CO ₂ 削減について (2) プラスチックによる環境汚染の問題について (3) 環境保全の視点から農業問題について 3 市民の健康増進と生きがいづくりに活用される交流拠点施設の利用促進を	13
6	小牧 一美 【一問一答方式】	1 議第63号 守山市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例案について 2 守山市の子育て支援のあり方について 3 市民に寄り添った支援について (1) 重層的支援体制の充実について (2) こども家庭相談課の充実について 4 トップダウンからボトムアップの市政運営を	13
7	今江 恒夫 【分割方式】	1 守山市内における獣害駆除対策について (1) 獣害による農業被害の状況把握について (2) 住宅地における外来生物の生息状況及び獣害駆除対策について 2 守山市介護職員就職支援事業補助金について 3 ヒトパピローマウイルス (HPV) ワクチン接種について 4 子宮頸がん検診について	14
8	筈井 昌彦 【一問一答方式】	1 全国学力・学習状況調査について (1) 調査結果の公表について (2) 教育指導の改善、指導計画、施策への反映について 2 調査結果の活用について 3 コロナ禍での学力、学習への影響と態勢整備について	14
9	田中 尚仁 【総括方式】	1 市民の環境意識の醸成と環境美化への支援について	15
10	山崎 直規 【分割方式】	1 「地域気象防災支援のための気象庁等による取組み」について 2 「線状降水帯の予測システム」について 3 「認知症高齢者等個人賠償責任保険」について	15
11	福井 寿美子 【総括方式】	1 新分別の焼却ごみに伴う雑誌・雑がみ類の啓発の見直しと雑がみ回収袋の工夫について	16
12	森重 重則 【分割方式】	1 就労支援について 2 働きやすい職場について	16
13	酒井 洋輔 【総括方式】	1 守山市内教育現場における新型コロナウイルスへの対応・対策について (1) 子どもの感染症対策について (2) 12歳以上の子どもに対するワクチン接種の考え方について (3) 欠席を希望するご家庭への対応について	17
14	高田 正司 【一問一答方式】	1 くすの木通り古高南交差点改良工事(右折レーン)の新設について	17

問 本市の上下水道事業の現状課題と今後について



問 今後の水道管路耐震化について伺う。

答 年次更新計画にもとづき重要度の高い基幹管路の耐震化をしっかりと進めていく。具体的には、重要度・優先度を勘案し令和10年度までに9.6kmの耐震化を計画している。

問 本市の水道の有収率について伺う。

答 漏水被害が小さい段階で漏水箇所を発見し、早期に修繕することは、有収率の改善のみならず、大規模な断水や濁水の発生を未然に防いでいくという観点からも非常に有効な手段であることから、引き続き計画的に取り組みたい。

問 今後の公共下水道事業について伺う。

答 令和5年度までの計画の守山市下水道総合地震対策計画に基づき重要な汚水幹線の耐震化に取り組んでいるところであり、計画終了時点での重要な汚水幹線の機能確保率(耐震化率)は43.5%となっている。延命化については、令和3年度から令和7年度

までの期間ストックマネジメント計画により電気機械設備の更新および管路のTVカメラ調査等を進め、計画的に事業推進していく。

問 技術職員の確保と職員の増員および育成について伺う。

答 計画的なジョブローテーションを実施し、より多くの職員への知識や技術の継承を行うとともに、各種研修会を活用するなど技能習得を図り、配置義務のある「水道技術管理者」の資格につきましても、継続的に有資格者の育成を行っているところである。

その他の質問

- 配水場ならびに水源地の耐震化について



新政会 **にしむら 西村** **ひろき 弘樹**

問 大雨に伴う上下水道の使用自粛について



問 去る8月13日から15日にかけて全国的に強い雨が降り続き各地で甚大な被害が発生した。本市では道路の冠水16ヶ所、床下浸水1件ということであった。ただ、大雨の影響で下水処理が限界に達し、14日の昼過ぎ、市民に対し「大雨の影響によりマンホール等から汚水が溢れる可能性が増している。上下水道の使用自粛を」さらにその日の夕方には「引き続きお風呂の水など大量の水を流すのを控えて」という要請文が安全・安心メールで配信された。下水道に雨水は流れ込まない構造になっているはずなのに雨の影響で下水量が異常に増大するというのはどういうことなのか。このことをどのように認識し総括しているのか。また、入るはずのない雨水が大量に下水管に流れ込んだ原因とその対策について伺う。

答 原因は、入るはずのない雨水が様々な要因により大量に下水道管に侵入したことである。侵入水については、過去、平成26年9月の台風18号の際に県の

流域下水道が処理不能となり各市町で汚水が溢れる被害が発生したため、それ以降県と各市町が協力して原因解明とその対策に取り組んでいるところであるが、道半ばでまたこのような事態が発生したということである。マンホール調査、交換や管渠内のカメラ調査、修繕等を積極的に行ってきたが、今回の事態を受けこれらの対策をさらに強めるとともに、宅地内の下水柵の点検も市民の皆様にお願いしながら侵入水防止にしっかりと取り組む。



ネットワーク未来 **くにえだ 國枝** **としたか 敏孝**

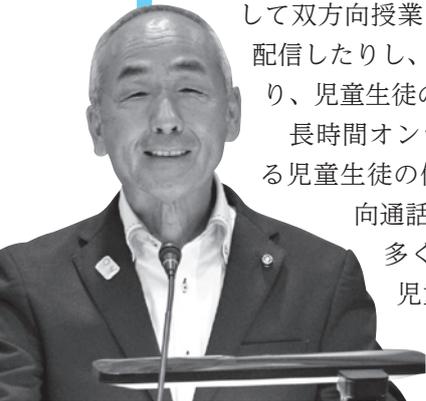


問 withコロナ時代の学校教育の推進について

問 二学期が始まったが、市内中学校で陽性者が出て、休校措置を取ることになった。今回の休校措置期間中に、オンライン学習には取り組まれたのか。また、どのような課題が見えてきたのか。

答 新型コロナウイルス感染症の影響により、臨時休校や学級閉鎖を行った学校では、オンラインを活用して双方向授業を行ったり、授業動画や課題を配信したりし、オンラインを活用した学習により、児童生徒の学ぶ機会の保障をしている。

長時間オンラインを活用し続けることによる児童生徒の健康への不安や、長時間の双方向通話の実施によって家庭の通信量が多くなることが考えられるため、児童生徒や家庭への負担が大きくなるように配慮していく。



新政会 いしだ せいぞう
石田 清造

問 6月議会で、教職員の資質・能力を高めるためには、積極的に研修を進める必要があることを申しあげたが、校内及び校外での研修等は効果的に進めることができたのか。

答 東京学芸大の教授を招き、授業でのICT利活用における「守山モデル」の研究を13小中学校の教員と進めている。その成果を、各校の研修や、教育研究所の夏季研修で紹介するなどし、効果的なICT活用の推進に努めたところである。



問 コミュニティスクール制度の導入について

問 2017年の3月議会では「早急に導入する必要性は低い」という答弁だったが、地域社会の中で幅広い体験から学ぶことの重要性は高まっている。学校と地域の連携を強化するコミュニティスクール制度の導入を、再検討できないか。

答 全国で成功した事例がある一方、うまく機能していない事例もある。

守山ならではの地域を基盤とした学校づくりを継続・発展できる方法について調査・研究していきたい。

コミュニティスクール制度のポイント

- これまでの制度との違い
- 人材の確保
- スムーズな導入
- 地域人材の巻き込み
- 学校と市役所の連携

問 近年では守山市でも地域の担い手不足が過大になってきている。コミュニティスクールに設置される「学校運営協議会」の人材確保については、どう考えるか。

答 これまでお世話になっている方に継続した支援を頂けるようお願いすることに加えて、今まで参画して頂いていない方にも新たな視点や関わり方をしただけのように取り組んでいきたい。

コミュニティスクール制度の導入

社会状況が変化している。再検討できないか？



学校と地域の連携が、これまで以上に大切



無所属 かわもと こうへい
川本 航平

問 新型コロナ感染症対策について



問 ワクチン接種の進んでいない若い世代の感染拡大、自宅療養者、家庭内感染の増加が深刻。児童、生徒、若い世代のワクチン接種促進・学校での定期的PCR検査、営業自粛による米価下落への支援を進めるべき。

答 学校・施設等の安全な運営のため検査の補助を実施している。小中学生のワクチン接種も進んでいる。保健所と連携し自宅療養者への支援を行っている。農業者には他の支援策を進めている。

問 温暖化による気候変動は深刻さを増すばかり。CO2削減は待たなしの課題である。サーマルリサイクルは見直し、ごみの減量化をすすめるべき。大量生産大量消費、使い捨て社会を見直し、市民を取り込んだ脱プラスチックの具体化が必要。

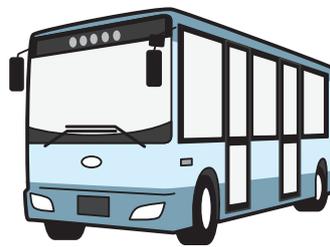
答 国の動向を見ながら、市として出来ることからCO2削減に取り組む。エネルギー地産地消としてサーマルリサイクルを行う。新しいごみ分別を市民への周知し、ごみの減量を進める。

問 環境保全の視点から農業を守り、環境に配慮した農業を進めるべき。

答 基幹産業である農業の維持を図っていく。農業の適正利用を注意喚起する。

問 エコパーク交流拠点施設の利用促進を。シャトルバスの運行を見直すべき。

答 年間利用想定人数の約55%の利用がある。シャトルバスの運行拡充を検討する。



日本共産党議員団

ふじわら ひろみ
藤原 浩美

問 子どもの権利と利益が尊重される子育て支援を



問 「待機児童の調整弁」といった地域型保育園の多数の開設で、今度は「定員割れ」が生じている。子どもの権利と利益が尊重される子育て支援を求める。

答 事業者公募の際に最低10年の事業継続を要件とし、運営リスクも説明している。既存園だけでなく地域型保育所にもバランスよく就園いただく。

問 給食を外部搬入している守山こども園の給食は、おかずも汁物も冷たい。食べることが大事な教育。おいしい給食提供を。

答 守山幼稚園の早急なこども園化に向け、給食の外部搬入を選択した。汁物だけでも温かく提供できるよう、10月から保温性のある食缶を導入する。

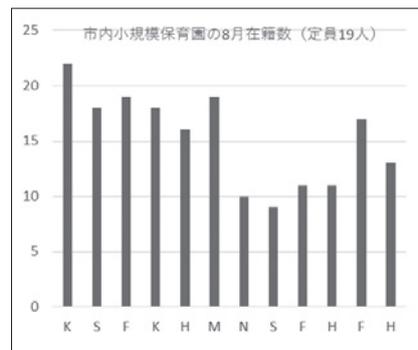
問 市は、困っている人に頼りにされる場所となるべき。相談後、問題が改善しているか。重層的支援の充実。

答 継続的な面談や訪問で、実態把握に努めている。支援の方針を検討する場を毎週開催している。重層的な支援を関係者が一丸となって推進する

的な支援を関係者が一丸となって推進する

問 コロナ禍の今、最重要課題はいのちと暮らしを守る施策。駅東口開発、湖岸「道の駅」構想は、十分な議論を踏まえるべき。

答 感染症対策は当然だが、アフターコロナを見据えた議論・検討も必要。



日本共産党議員団

こまき かずみ
小牧 一美



問 守山市内における獣害駆除対策について

問 守山市内における畑地帯や住宅地においてアライグマやハクビシン等の外来生物による被害が徐々に拡大している中、対策を講じて欲しいとの声を聞く機会が増えて来ている。先日、今浜町のイチジク栽培の圃場で被害があり、箱わなを環境政策課より貸出しをいただいたところである。

駆除対策を早期の段階でしっかりしないと、個体数が増え駆除に多額の費用が必要になるのではと心配しているところである。先ず農業被害の状況把握をどのようにしているのか都市経済部理事に、次に、住宅地における生息状況についてどのように認識され、獣害駆除対策についてどのようにお考えなのか環境生活部長に伺う。

答 カラス等の駆除については、次年度において猟友会の協力のもと回数を増やし強化していきたいと考えている。また、外来生物については、繁殖力が高く緊急の課題と認識しており、駆除の強化を図っていききたい。

その他の質問

- ・守山市介護職員就職支援事業補助金について(健康福祉部理事)
- ・ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチン接種について(健康福祉部理事)
- ・子宮頸がん検診について(健康福祉部理事)



新政会 いまえ つねお
今江 恒夫



問 全国学力・学習状況調査について

問 調査結果の公表は説明責任を果たすことも重要ですが測定できるのは学力の特定の一部分であることから過度な競争が生じないようにする配慮が必要です。学校別の公表は非公表が良いと考えるが。

答 本市では小学6年生の国語、算数、中学3年生の国語、数学いずれも全国平均を上回る結果となったが学校間の序列化につながるような学校別公表は行わない。

問 今回の分析結果をどのように教育指導の改善、指導計画、施策に反映されるか。

答 各校で調査結果の分析を進め、2学期以降の授業改善、児童生徒の学力向上「わかった・できたを実感できる授業づくり」の取組に活かしていく。

問 今回の調査結果は一人ひとりの学力の学習状況に応じた学習指導の改善や充実に役立つ。活用方法について伺う。

答 自尊感情を高めるため、学校での体験活動の充実を図り、個票については一人ひとりの状況を把握し個別の学習指導や教育相談に活かす。

問 コロナ禍が子どもの学力や内面に影響を及ぼしている恐れは高く、学力、学習への影響を注視する必要がある。安心して学べる環境整備が必要と考えるが。

答 一人一台端末の環境が整い、休校時にはオンライン学習を実施、学習後の子どもの様子を把握するとともに児童生徒のケアを行い、安心して学べる環境づくりに努める。



新政会 はず い まさひこ
筈井 昌彦

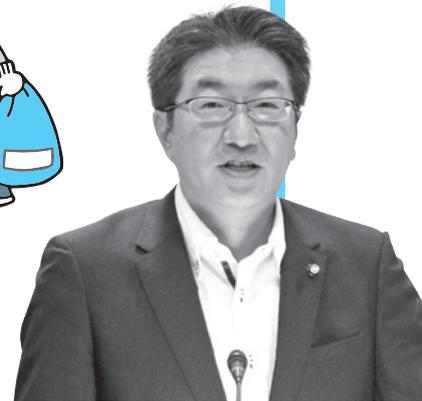
問 市民の環境意識の醸成と環境美化活動への支援について



問 守山市内では企業や各種団体や有志などによるボランティア活動として街中や公園などのゴミ拾いや、草刈りなどの美化活動が行われている。これらの活動に対して市としても積極的に支援すべきと思うが、現在はどのような支援が行われているのか。また、環境活動へ取り組む団体や個人に対し登録すれば市からの支援が受けやすくなるような登録制度や、ごみ袋作成への企業の協賛制度などがあれば、環境美化活動の輪が広がると思うが考えを伺う。

答 ボランティア等で美化活動された場合、集められたごみの手数料の減免、また、団体での利用に限りますが、守山市電気自動車軽トラックの無償貸出、火ばしの貸し出しや、守山ロータリークラブから環境美化活動で使用するために寄付いただいた、ごみ袋を提供している。しかし、これらの支援の取り組みについて案内ができていないのでボランティア活動における物品の提供や貸し出しについて、市広報

やホームページで周知していく。協賛によるゴミ袋の作成については企業にとってもイメージや企業価値の向上に繋がるので積極的に検討していく。



新政会 たなか ひさと
田中 尚仁

問 地元気象台との連携について



問 守山市における気象台との連携について伺う。

答 彦根気象台におきましても、「あなたの町の予報官」として、土砂災害気象官、予報官等5名の担当チームを編成し、県南部担当チームが守山市の支援を行っていただいている。

問 市における気象災害情報の専門家の育成に係る研修等はされているか。

答 避難情報の発令等においては、一刻も早い判断が求められるが、研修等における防災の専門家や被災された自治体のお話などは、職員の経験を補うものとなり、知識の蓄積の点からも職員の育成は重要と考えている。

現体制では、単発的なものやオンラインでの研修も含め、防災に関する幅広い知識が習得できるよう計画的な研修等への参加に努めていく。

問 線状降水帯の予測システムに対する市の認識はどうか。

答 線状降水帯発生の可能性の予測については、今後、より正確な予測システムが確立され、防災への取組に活かされることを期待しているところである。

また、気象台等関係機関とさらに連携を図り、ホットライン等を活用した早期の気象情報の把握に努めますとともに、情報を活用し速やかな市民の皆さまへの周知等の対応に努めていく。

その他の質問

- ・認知症高齢者等個人賠償責任保険への加入を検討すべき



公明党 やまさき なおき
山崎 直規



問

新分別の焼却ごみに伴う雑誌・雑がみ類の啓発の見直しと雑がみ回収袋の工夫について

問 10月1日より、新環境センターの稼働によりトレイ類や破碎ごみの一部も焼却ごみとして取り扱いされることで約2割にあたる資源化可能な紙類も焼却されるのではないかと心配している。守山市の雑誌・雑がみの分別辞典ではリサイクルできない雑がみ類である「禁忌品」があることなど、今一度雑誌・雑がみの類の啓発の見直しをすべきではないか。

答 紙にリサイクルできない禁忌品があることが市民の皆様には伝わっていないことがあり、よく雑がみに混入されている。間違いやすい事例等を市広報・HP、ごみ分別アプリに配信するなどし、ごみの減量化に繋げていく。

問 レジ袋の有料化に伴い、紙袋も有料になったことから雑がみ類の回収袋を他府県では新聞紙や禁忌品でない紙を使って、手作りの回収袋の作り方や動画を配信している。守山市でも手作り雑がみ回収袋の作製に取り組んでみてはどうか。

答 本市でも手軽にできる「雑がみ回収袋」の作り方の動画やイラストを制作し市広報等で発信し、併せてもりやまエコパーク交流拠点施設の環境学習メニューとして加えていく。市民の一人ひとりの分別意識の向上に努めていく。



ネットワーク未来 福井 すみこ 寿美子



問

市職員が長く働ける職場づくりについて

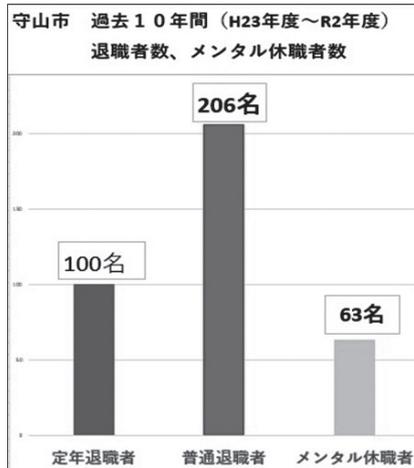
問 守山市職員のH23年からR2年の10年間の定年退職者は、100名、普通退職206名の計306名になります。10年間の病気休職は87名であり内メンタル休職が63名となっております。この10年間の定年退職の2倍の普通退職者数、メンタル休職者数の多さが依然として続いている。現状をどう認識し、どのように改善すれば市職員が長く働きやすくなるか。

答 必要に応じ組織体制の見直しを行い、負担が偏ることがないように、職員の意見を踏まえたうえで、私が先頭に立ち、しっかりとマネジメントを行って参ります。議員仰せの通り、「職場環境」は、「働くことの喜び」を増やすことも減らすこともできる重要な要素であると考えます。「働きがいのある職場」を実現していく。

就労支援について

問 今後、困窮世帯の子ども、若者支援と保護者の生活再建ともなる就労という「出口」への道筋をどのようにつないでいくのか就労支援について見解を伺う。

答 今後、一般就労に結びつく中間就労ニーズの高まりや、実施可能な事業者があった場合は、市の委託という形態であれば、国の補助金も活用できますので、委託先の追加など様々な方法を検討していく。



ネットワーク未来 もりしげ しげのり 森重 重則



守山市内教育現場における 新型コロナウイルスへの対応・対策について



問 子どもの感染症対策について伺う。

答 教育活動において、仲間と共に学び、高め合うことは大きな意義がある。感染リスクが高いと考えられる学習内容の停止など、できる限りの対策をとり、分散登校ではなく、学級集団としての学びを大切にされた教育活動を実施していく。

問 12歳以上の子どもに対するワクチン接種の考え方について伺う。

答 ワクチン接種については、強制ではなく、自らの意思で決定するものであり、接種が困難な方もいる。新型コロナウイルス感染症やワクチン接種に対する差別・偏見を生まないために、児童生徒一人ひとりが事実を正しく理解し、人権に配慮できるよう指導していくことが必要であり児童生徒一人ひとりがどう行動すべきかを主体的に考え、お互いを思いやる心を育む教育を推進していく。

問 欠席を希望するご家庭への対応について伺う。

答 2学期開始にあわせ、やむを得ず登校できない場合、学校に連絡をしていただく旨をメール配信にて周知した。さらに緊急事態宣言の延長にあわせ、欠席扱いとはせず出席停止にすることを再度周知した。あわせて、登校を自粛した児童生徒に対しては、クロムブックを活用し、授業のライブ配信を実施することもメール配信にて周知した。今後も保護者が何か不安に感じることがあれば、丁寧に対応していく。



新政会 さかい ようすけ
酒井 洋輔



くすの木通りの渋滞対策、古高南交差点改良工事について



問 くすの木通り渋滞対策については過去に何度も本会議で質問している。その都度、答弁では本市の道路行政の中でも重要な課題であると認識されているが、何をどのように改善しようとお考えか。

答 当該交差点に右折レーンがないことが大きな要因であると認識している。右折レーンを新設することが有効手段であるものと考えている。交差点改良を実施するためには地権者はもとより水利権者の協力が不可欠であることから、関係者のご協力を賜る中、交差点改良に取り組んでいく。

問 歩道幅員について公安委員会との協議はどうかあったか。

答 右折レーンを含む道路全体の構成ができておりませんので、具体的な協議が進んでおりません。詳細設計の中において公安委員会との協議を進め決定していく。

問 概略設計時に歩道幅員等の協議はしておくべきと考えるが。

答 そのとおりであると思う。

問 詳細設計業務の進捗状況はどうか。

答 令和3年3月に終えた交通量調査業務の結果をもとに9月27日に入札の予定で事務処理を進めている。

問 改良工事完了予定は。

答 公安委員会をはじめ、すべての協議が整い、関係自治会のお力をいただく中、完成に向け鋭意努力していく。また、それまでの間、時差式信号による対応を考えている。



翔政会 たかだ まさし
高田 正司

審 議 結 果 一 覧

議案番号	件 名	会派 議決結果	①			②			③		④	⑤	⑥	⑦												
			新野 富美夫	笠井 昌彦	西村 弘樹	今江 恒夫	田中 尚仁	石田 清造	赤淵 義誓	酒井 洋輔	藤木 猛	小西 孝司	高田 正司	渡邊 邦男	森重 重則	福井 寿美子	國枝 敏孝	小牧 一美	藤原 浩美	山崎 直規	森 貴尉	川本 航平				
認定第1号	令和2年度守山市一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	
認定第2号	令和2年度守山市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第3号	令和2年度守山市土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第4号	令和2年度守山市育英奨学事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第5号	令和2年度守山市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第6号	令和2年度守山市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第7号	令和2年度守山市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第8号	令和2年度守山市水道事業会計決算の認定について	原案認定	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第9号	令和2年度守山市下水道事業会計決算の認定について	原案認定	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第10号	令和2年度守山市病院事業会計決算の認定について	原案認定	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第60号	令和3年度守山市一般会計補正予算(第8号)	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第61号	令和3年度守山市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第62号	令和3年度守山市介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第63号	守山市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例案	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議第64号	使用料等の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例案	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議第65号	守山市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	原案同意	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第66号	令和3年度守山市一般会計補正予算(第9号)	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第67号	守山市監査委員の選任につき同意を求めることについて	原案同意	□	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	原案異議なし	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	原案異議なし	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第4号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	原案異議なし	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第1号	コロナ禍による米の需給改善と米価下落の対策を求める請願	原案不採択	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	
意見書第6号	選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書	原案否決	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	
意見書第7号	辺野古新基地の埋め立てに、沖縄戦戦没者の遺骨混入土砂を使わないことを求める意見書	原案否決	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	

会派…①新国会 ②翔政会 ③ネットワーク未来 ④日本共産党議員団 ⑤公明党 ⑥自由民主党 ⑦無所属議員
 ○…賛成 ×…反対 —…議長は採決に加わっていません。 □…採決に加わっていません。

新 市議会だより編集委員メンバー 始動!!

9月30日付けで議会だより編集委員メンバーが変わり、新委員長をはじめ6名のメンバーをもって守山市議会だよりを編集・作成をしていきます。

見やすい・わかりやすい記事をめざして

紙面には限りがある中で、伝えたい内容をわかりやすく、工夫をしながら行ってまいります。



今江 恒夫 委員長、 福井 寿美子 副委員長
小牧 一美 委員、 渡邊 邦男 委員
酒井 洋輔 委員、 川本 航平 委員

市議会の傍聴のご案内とインターネット中継

日程は変更になる場合もあります。時間は9時30分からです。お問い合わせは議会事務局へ。Tel.077-582-1151

守山市議会中継 ⇒ 守山市議会YouTube中継ページへ

インターネットアクセス数

(7月14日～10月18日)

1,316件

議会活動報告(7月～9月)

7月28日	全員協議会	9月 1日	総務常任委員会協議会
8月 2日	議会運営委員会	9月 3日	本会議(1日目)
8月11日	全員協議会	9月 3日	全員協議会
8月11日	議会運営委員会	9月 3日	市議会だより編集委員会
8月12日	令和3年守山市議会第3回臨時会議	9月10日	議会運営委員会
8月12日	総務常任委員会協議会	9月15日	本会議(2日目)
8月12日	文教福祉常任委員会協議会	9月16日	本会議(3日目)
8月12日	環境生活都市経済常任委員会協議会	9月24日	決算特別委員会
8月12日	全員協議会	9月27日	決算特別委員会
8月27日	議会運営委員会	9月30日	本会議(4日目)
8月30日	公共施設調査特別委員会	9月30日	議会運営委員会
8月31日	子育て支援対策特別委員会	9月30日	全員協議会
9月 1日	議会改革・広報広聴特別委員会	9月30日	市議会だより編集委員会

次回定例会会議等の開催予定

11月19日(金)	公共施設調査特別委員会	9日(木)	本会議(3日目)
22日(月)	子育て支援対策特別委員会	10日(金)	総務常任委員会
24日(水)	議会改革・広報広聴特別委員会	13日(月)	文教福祉常任委員会
26日(金)	本会議(1日目)	14日(火)	環境生活都市経済常任委員会
12月8日(水)	本会議(2日目)	16日(木)	本会議(4日目)



まちのトピックス

大川自由研究室(竹水鉄砲大会)開催!!



8月4日、美崎自治会・大川活用プロジェクトのイベント、大川自由研究室(竹水鉄砲大会)が開催されました。自分たちで作った竹水鉄砲を使い、的に向かって勢い良く飛ばす姿は夏の暑さを吹き飛ばすかのように元気いっぱいでした。

県内初

QRコード®チラシ作成 本会議の動画視聴していただきます

本会議で行われた個人質問の様子を広く周知するため、チラシを作成しました。身近に・手軽に視聴していただきたい思いから、QRコード®から読み取って、動画ページにアクセスできすぐに視聴いただけるチラシとなっています。守山市立図書館で掲示しております。是非ご覧ください。



アプリで見よう!!

もりやま市議会だよりがアプリで閲覧できます

App Store

Google play



◀「マチイロ」
アプリをインストール



◀「Sidebooks」
アプリをインストールし、
「ちいき本棚」を選択

※アプリの使用は無料ですが、通信費は各回線ごとのご負担となります。
※アプリの閲覧中に広告が表示されますが、その内容に守山市議会は責任を負いません。



編集後記

秋の風を感じ始める季節となりましたが、地球温暖化の影響から、大雨による水災害の報道を目にする機会が増えて来たように思います。本市議会におきましても防災対策に向け、議論を深め、市民の皆様の安全で安心な暮らしを守るよう努めてまいります。9月議会では、コロナ対策を始め、公共施設の整備、未来に向けた投資的予算が審議されました。

50年先を見据え、未来の子どもたちに誇れる守山の実現に向け、今期の守山市議会も後半へ続きます。

(議会だより編集委員長 今江 恒夫)



- 用紙:適切に管理された森林の木材を利用したFSC®認証用紙
- インキ:環境配慮型インキ(植物油インキ or ノンVOCインキ)
- 印刷:有害な廃液を排出しない水なし印刷